

平成二十五年（巳年）

新年のごあいさつ



松浦市長
友広 郁洋

「市民が主役の住みよいまち」
「安心・安全のまち」づくりを
目指します

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は、長引く景気低迷、円高の影響、雇用不安など厳しい一年であり、とりわけ、福島第1原子力発電所の事故を受け、今後の原子力発電所のあり方やそのことに伴う電力供給不足が心配された年でありました。

このような中、本市では、原子力防災対策として、玄海原子力発電所に係る安全協定を長崎県、九州電力と締結するとともに、原子力防災避難行動計画や地域防災計画の見直しを行いました。

また、本市の総合計画に基づく「エネルギーのまち」への取り組みとして、福島小島適地へのメガソーラー発電所誘致と併せて、現在建設を中断しております九州電力松浦発電所2号機の建設再開に向けて、市議会や地元経済団体などのご協力をいた

だきながら関係機関へ要望を行ってまいりました。

このほか、鷹島神崎遺跡の海底遺跡では国内初となる国史跡指定、福岡市天神地区へのアンテナショップ開設、松浦高校陸上部の全国高校駅伝大会への初出場など明るい話題もございました。

本年も、安心・安全な暮らし、産業の振興と企業誘致による雇用の確保、福祉・教育の充実など、市民が主役の住みよいまちづくりに全力を傾注してまいりますので、なお一層のご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が市民皆さまにとりまして、すばらしい年となりますよう心から祈念申し上げます。そして、新年のごあいさついたします。

行政と力を合わせ、スピード感を持って

実効性のある市政運営に努めます



松浦市議会議長

金内 武久

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、希望に満ちた平成25年の新春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、震災復興、エネルギー政策、社会保障と消費税増税、環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉参加など、国の将来像を占う諸問題が大きな議論となりました。

経済に至っては、デフレ進行と超円高の影響などにより低迷が続く、地方における雇用・経済情勢は一層厳しい環境に直面しております。

このような時に当たり、本市におきましては、農林水産業の振興はもとより、雇用創出につながる企業誘致や既存企業の支援、さらには定住促進と交流人口の拡大に向けて、実効性のある市政運営に努めているところであります。

中でも、企業誘致に向けた取り組み

では、市営東部工業団地(仮称)の造成工事が本年3月末に完了する予定であり、

加えて、西九州自動車道の山代〜今福間についても平成26年度供用開始を目標に建設が進められており、着実にインフラ面は整いつつあります。今後、雇用力のある企業の誘致を実現するため、行政と議会が一体となり、スピード感を持つと取り組んでまいれる所存であります。

また、九州電力(株)松浦発電所2号機の建設促進についても、市内経済の活性化を図る上で重要な課題であります。エネルギー政策の動向は不透明であります。今後とも、建設再開に向けた活動を強力に推進してまいりたいと存じます。

行政需要は多様化し、課題は山積しておりますが、市議会といたしましては、行政と力を合わせて、市民皆さまが住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、専心努力してまいれる決意でございます。

結びに、本年が市民皆さまと松浦市にとりまして実り多く、飛躍する一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

交流を深め、強い絆で結ばれる

姉妹都市であることを望んでいます



オーストラリア・マツカイ市長

デイードウリー、
カマフオード

マツカイ市民を代表して、新年における松浦市民の皆さまの御健康、御多幸、御繁栄をお祈りいたします。

昨年は私たち姉妹都市関係にとつて多忙な1年でした。

1月に「松浦通り」が正式に開通し、オーストラリア・デーではスカイプをとおして交流を行いました。

5月には、私がマツカイ市長として当選。私たちの姉妹都市としての強い絆を改めて認識しました。

私にとつては、今回が初めての市長としての任期となりますが、個人的には18年間にわたり松浦市との姉妹都市関係に携わっており、友好関係がさらに深まることを望んでおります。

7月には、松浦市民親善訪問団の皆さまをお迎えできたことを嬉しく思っております。新しい人との出会いや友人との再会を楽しみました。

また、マツカイ市民にとつても、昨年はマツカイの150周年のお祝いという特別な年でした。松浦市の訪問団

の皆さんともこのお祝いを分かち合う

ことができ嬉しく思っております。

8月には、青少年使節団の皆さんをお迎えすることができました。生徒の皆さんたちとお会いできて嬉しく思いました。この訪問に関してはとても良い感想をいただくことができました。

ホストファミリーの皆さんもこれからずっとこの友情を育てていくことでしょう。本年も松浦市からの青少年親善使節団の皆さんをお迎えすることを楽しみにしており、すでに受け入れの計画も始めております。

9月には、マツカイ市からの青少年使節団が松浦市を訪問しました。生徒たちは松浦での経験を楽しみ、もう一度松浦を訪問したいと言っていました。ご家庭にあなたかく受け入れてくださったホストファミリーの皆さんに心からお礼を申し上げます。

新年を迎え、皆さまの御多幸をお祈りいたしますとともに、本年、松浦市を訪問できますことを楽しみにしております。